

スタッフ便り

仙台市の霞目に津波の伝承が残る神社がある。その名は浪分神社である。伝承によると、「昔、大津波が仙台を襲った時、天から白馬にまたがった海神が降臨し、大津波を南北に分断して鎮めた」と言うものである。この神社は海から 4km 離れていて、なぜこのような伝承が残っているか不思議に思われていたが、2011 年の東日本大震災の時にはこの神社の数百 m 手前まで津波が迫っていた。これにより、この伝承は過去の津波によるものとされ、天保六年（1835 年）六月に起きた津波で作られたものとされている。私は、先日、この神社を参拝してきた。当センターは、津波を伴う地震が国内で発生すると A0BA-A が自動的に津波被害の予測を行い、地震発生後 20 分程度でその結果を政府と高知県へ送付している。そして、この情報は災害対応計画に役立てられている。私は、この処理がいつも正常に動作し、被害を最小に抑えられるようにとお願いをしてきた。(A. M)

ここだけの話ですがアナログなものが好きです。例えば落語。20 代の頃から聞いています。落語は噺家が座布団の上に座って扇子と手拭いだけでさまざまな登場人物を演じ分ける 1 人芸です。代々語り継がれている古典落語とその人が作った新作落語がありますが、同じ噺家が古典落語の同じ演目をやっても毎回少しずつ内容が異なりますし、聞く側も、話を聞いて頭の中に思い浮かべる登場人物は人それぞれ、毎回異なってくるのではないのでしょうか。



数か月前に超初心者向けの生成 AI の研修会に参加させていただく機会がありました。講師の方が生成 AI に音声データを読み込ませて概要をまとめた文章を作成させることや、入力した指示に応じて絵を描かせることもできると実演で紹介してくれました。研修会が終わり数時間後にふと思ったのが、生成 AI に落語の音声を読み込ませて話の中の登場人物の絵を描かせたらどうなるのだろうかということです。名人の上手な落語と前座さんの落語を読み込ませた時では、生成 AI の描く絵は変わってくるのだろうか。また、音声ではなく映像を読み込ませたらどうだろう。ベテランの噺家さん（いわゆるおじいさん）が座布団の上で娘さんの登場する噺を演じた映像を読み込ませた場合は、娘さんの絵をどのように表現して描いてくれるのだろうか。おじいさんの容姿には全く引きずられないのだろうか。著作権の関係などもあり実際に実験してみるのには難しいかもしれませんが、多少興味はあります。そんなことを考えていたら年が明けました。本年もどうぞよろしくお願いします。(K. K)

【サイバーサイエンスセンタースタッフ異動のお知らせ】

2025. 1. 1 転出

小松 一彦 特任教授（グリーンクロステック研究センター教授へ）



SENAC 編集部会

滝沢 寛之 水木 敬明 後藤 英昭 今野義則
佐々木明里 大泉 健治 小野 敏 斉藤くみ子

2025 年 1 月発行
編集・発行 東北大学
サイバーサイエンスセンター
仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3
郵便番号 980-8578
PDF 作成 株式会社 東誠社